

東海3県の自治体では初！ オープンノベーションオフィス「SENQ（センク）」の パブリックパートナーに就任しました

豊橋市は、スタートアップや新規事業が持続的に生み出されるスタートアップ・エコシステムの充実に向け、「CIC Tokyo」に入居するなど、首都圏のスタートアップ等との連携を強化するとともに、本市への誘致活動などに取り組んでいます。

このたび、首都圏での更なるビジネスマッチングや人・企業の誘致に向け、東京都内6拠点で展開されているコワーキングスペース「SENQ」のパブリックパートナーに就任いたしましたので、お知らせします。東海3県（愛知・岐阜・三重）の自治体としては初めての就任となります。

「SENQ」は、東京都内の青山に2拠点、京橋、霞が関、六本木、目黒にそれぞれ1拠点を設置し、拠点ごとに「官民連携」、「食」、「アート・ファッション」など異なるテーマを設定しています。豊橋市としては、各拠点の入居者や大手企業などの民間パートナー等との交流を通じて、首都圏での幅広いネットワークを構築し、協業や新たなビジネスの創出に生かしていきます。

ポイント 首都圏での幅広いネットワークを構築

(1) パブリックパートナー就任の狙い

官民連携、食、アート・ファッションなど拠点ごとの多様なコミュニティでの交流や民間パートナーとして参画する大手企業等との関係構築を目指します。

(2) パブリックパートナーの役割

- ・ 入居者からの協業依頼についての相談対応
- ・ 定期的な施設訪問及び入居者との交流

(3) パブリックパートナー就任のメリット

- ・ パブリックパートナーは全拠点のコワーキングスペース利用可能（利用条件あり）
- ・ 自治体が行う魅力発信イベントや、自治体内の企業等と連携したPRイベントを開催することが可能



コワーキングエリア



自治体連携イベント



マッチングイベント

【参考】「SENQ」の概要

- ・ 中央日本土地建物株式会社が平成 29 年 2 月から、東京都内 6 拠点（京橋、青山、霞が関、六本木、目黒）で展開するコワーキングスペース
- ・ ワークプレイス機能に加え、ビジネスマッチング機能、インキュベーション機能を備えたオープンイノベーションオフィスとして設置しており、現在 200 社以上の会員が入居
- ・ 入居者との協業や新たなビジネスの創出を促進するため、大手企業、金融機関等の「民間パートナー」や官公庁、地方自治体等の「パブリックパートナー」が支援企業・団体として参画
- ・ 「官民連携」、「食」、「アート・ファッション」など拠点ごとに異なるテーマを設定しており、多様なコミュニティを形成

問合せ先 地域イノベーション推進室 室長補佐 小野（電話 51-3155）